

07-5 放課後児童支援員の資格及び研修受講実績

勤務年数	支援員A		支援員B		支援員C		小計		合計	中堅者研修(受講済)				専門研修(受講済)			
	放課後児童支援員	補助員	放課後児童支援員	補助員	放課後児童支援員	補助員	放課後児童支援員	補助員		支援員A	支援員B	支援員C	合計	支援員A	支援員B	支援員C	合計
0	1	6	1	8	2	7	4	21	25	0	0	0	0	0	0	2	2
1	5	10	2	16	5	14	12	40	52	0	1	0	1	2	3	0	5
2	9	10	10	12	6	23	25	45	70	1	1	0	2	5	8	6	19
3	14	1	7	0	6	5	27	6	33	1	2	0	3	7	2	4	13
4	13	0	8	0	9	1	30	1	31	3	1	2	6	9	3	3	15
5	9	0	3	0	2	0	14	0	14	6	2	0	8	7	2	1	10
6	7	0	3	0	7	0	17	0	17	6	2	5	13	5	3	4	12
7	20	0	6	0	12	0	38	0	38	17	5	10	32	17	3	3	23
8	10	0	3	0	5	0	18	0	18	8	3	5	16	7	2	3	12
9	5	0	0	0	3	0	8	0	8	3	0	3	6	5	0	0	5
10	7	0	4	0	4	0	15	0	15	6	4	3	13	7	3	3	13
11年以上	35	0	10	0	13	0	58	0	58	22	5	8	35	28	5	7	40
計	135	27	57	36	74	50	266	113	379	73	26	36	135	99	34	36	169

※経験年数は、会計年度任用職員制度以前を含む郡山市放課後児童支援員としての勤務年数(令和5年4月1日見込)

※人数は令和5年2月1日時点在籍支援員等の人数(379人)

参考:本市の研修受講の考え

(1) 放課後児童支援員認定資格研修

研修受講資格がある者については、原則、全員受講させている。 ◆受講資格:放課後児童クラブでの勤務年数が原則2年以上又は保育士資格保有者等

(2) 中堅者研修

放課後児童クラブでの勤務年数5年以上の者を受講させている。(他放課後児童クラブでの経験年数を含む)

(3) 専門研修

障がい児等支援を要する児童が多い放課後児童クラブに勤務している者を優先に受講させている。

※同一クラブで複数名が同日に研修を受講することが難しいため、各クラブ1名ずつの受講を基本としている。

(認定資格研修については、クラブ間で支援員等の勤務調整を行い、原則全員受講させている。)

※中堅者研修と専門研修(放課後児童クラブに5年以上従事した者が受講の場合)は、「放課後児童健全育成事業」の実施について(平成27年5月21日付け雇児発0521第8号雇用均等・児童家庭局長通知)別添9「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」3②における、都道府県が実施する研修に該当します。